

荷姿の物を起因物とする墜落・転落の死亡災害発生事例（1999-2021年）

発生年	発生月	時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
2021	2	10 ～ 12	バルク車（飼料運搬車）のドライバーが、フレコンバックに入った飼料をバルク車に積み込むため、飼料倉庫に入ったところ、倉庫奥のコンクリート床に倒れている被災者を発見した。被災者は、救急搬送先の医療機関において治療中であったが、後頭部左側打撲による脳障害により同日の夕方に死亡した。	40301	10 ～ 29
2021	9	12 ～ 14	被災者は、フレコンバックが入った金属製の格子状のケース（1. 8 m×1. 8 m×1. 8 m）の中に入り、フォークリフトの爪にフレコンバックの紐をかけて、フォークリフトの運転士に合図を行った。合図を受けたフォークリフト運転士が、マストを上昇させ後退していたときに、被災者がケースの端から転落し、頭部を打って負傷した。負傷後、すぐさま病院へ搬送し、治療を行ったが後日死亡した。	11709	10 ～ 29
2021	10	8 ～ 10	被災者が、最大積載量350kgの貨物自動車の荷台に、段ボールや雑誌等の資源ごみを積み込む作業中、荷台上に積み上げられた資源ごみの上に乗る、資源ごみの高さを均していたところ、バランスを崩して前屈姿勢から前方に約1. 7 m墜落したものの。	150103	10 ～ 29
2020	2	14 ～ 16	被災者は、事業所の倉庫において、白菜の入った段ボールをパレットの上に積み上げる作業をしていたところ、隣のパレット上に6段目の段ボール箱を積みもうとした際、5段目のダンボール箱上から墜落し、死亡した。	40301	10 ～ 29
		4	被災者が運転するバルク車（飼料運搬車）がライトが点灯したまま倉庫の出荷口で停車していたため、同僚が被災者を探したところ、バルク車運転席で		50

2020	5	～ 6	右耳から血を流して横たわっている被災者を発見した。被災者は搬送先の病院で死亡が確認された。倉庫内では、フレコンバックが鉛直方向に4段積みされた上にフォークリフトのアタッチメント（フレコンバックを吊り上げるため制作されたもの）の先端が置かれた状態だった。	40301	～ 99
2019	2	14 ～ 16	工場敷地内の原料保管庫において、フォークリフトを使用して、コンテナに入っている小豆を、別のコンテナに移し替える作業を行う際に、移し替える先のコンテナ上に上っていた被災者がコンテナ内に転落し、コンテナに入っていた小豆が被災者上に落ちてきて小豆に埋まったもの。移し替える先のコンテナ上に、フォークリフトのフォークを刺したままで小豆が入っているコンテナを半分程度ずらして乗せた状態であった。	11709	50 ～ 99
2019	4	14 ～ 16	自社の資材センター内で、型枠工事に使用する単管パイプ（直径：4.6cm、長さ：3.5m）が積み上げられた高さ2メートルを超える場所において、数十本ごとにチェーンで結束された単管を、チェーンを外さずに一本ずつ引き抜き、上から下へおろしていた際に、被災者が自重で傾いた単管に押し上げられ、墜落したもの。保護帽、墜落制止用器具の着用なし。災害発生後7日後に被災者は様態が急変し死亡に至った。	30209	10 ～ 29
2019	5	6 ～ 8	パレットに積まれた凍結された10段積みの飼料の上にフォークリフトで更に2段を積み上げて12段積みにする作業の際、10段積みの飼料の上（床面からの高さ171cm）に乗っていた被災者（保護帽なし）が墜落したのち心肺停止状態となり、その後、搬送先で自立呼吸ができなくなったのち死亡が確認された	80109	100 ～ 299
2019	12	14 ～ 16	廃プラの圧縮梱包機の上部投入口付近にて、フォークリフトでフレコンを載せたパレットを上昇させ、被災者がフレコンを押し出して投入口に入れたところフレコンが詰まってしまったため、カッターを使用してフレコンの一部を開け、フレコンを足で押し込んでいた際に、何らかの事由によりフレコンとともに下部まで墜落し、自動運転となっていた圧縮シリンダーが起動して圧縮する部分と機械内壁との間に身体を挟まれ死亡した。	80109	10 ～ 29
		10	解体工事現場において、4tトラック2台の各荷台の後部を近接させ、荷台		

2017	3	～ 11	上で積み込んだ解体ガラを整理している際、転落した。なお、被災者は、保護帽は着用していた。	30202	1～ 9
2015	11	11 ～ 12	水産加工会社の冷凍倉庫脇において、トラック（11t、箱荷台）に被災者と水産加工会社の労働者2名で冷凍サバの荷積み中、被災者が荷である冷凍サバのブロックで足を滑らせトラック荷台後部（高さ約1.6m）から墜落し、頸椎骨折により死亡したもの。	40301	1～ 9
2014	1	10 ～ 11	堆肥小屋にて、被災者は、頭部を負傷した状態で座り込んでいるところを発見された。尚、発生時の状況については目撃者がいないため不明。	140302	50 ～ 99
2014	7	11 ～ 12	トラックに積んであった鉄製の入れ物を荷台で動かそうと、引っ張ったところ、鉄製の入れ物の網が外れ、後方に倒れ、高さ約1mの荷台から墜落した。	11203	10 ～ 29
2013	2	13 ～ 14	被災者は、倉庫でトラックの荷台（高さ1m）に積んであった古紙（バラ荷、高さ約1.2m、重量約100kg）をピットに設置されているベルトコンベアに落とすため、古紙の上に昇ったところ、誤ってベルトコンベアに墜落（高さ約2.6m）した。	10609	1～ 9
2012	1	9 ～ 10	被災者はフォークリフトで約1m持ち上げられたFRP製の魚タンク（タンクは固定されていない。）の中に入り、タンクから他のフォークリフトのバケットに魚を移し替え作業中、タンクのバランスが崩れて片側が床に落下し、タンクと共にコンクリートの床に墜落、頭を床に強く打ち、脳挫傷により死亡した。なお、保護帽は着用していなかった。墜落高さは、約1mであった。	10102	100 ～ 299
2011	6	9 ～ 10	被災日当日は、全日整理作業を行うことになっていた。被災者は2F北側の担当となり、一人でフォークリフトによる作業を行っていた。ラックの倒れる音が聞こえたため南側で作業していた同僚が被災者の様子を確認したところ、ラック間に仰向けで倒れていた被災者にフォークリフトで運搬していた2つ重ねた逆ネステ（ラック構成部材）が左太股の上に被さる状態で死亡していた。負傷状況から墜落によるものと推定される。	80401	1～ 9

2011	12	10 ～ 11	倉庫内において高さ5m（3 2段積み）に積んでいた米のはい崩し作業を作業員3名により行っていた。はいを3段のひな段状に組んだあと、高さ3mの位置（上段）に1人、高さ1.68m～2.05mの位置（中段）に1人及び床に1人配置（下段）して出荷していたところ、中段で作業していた作業員がはいの上でバランスを崩しコンクリート床に墜落し頭部を強打、脳挫傷により死亡した。なお、被災者は保護帽が未着用であった。	40301	10 ～ 29
2009	10	18 ～ 19	台風の接近に備えて5段の階段状に重ねられた空コンテナの固定状況を目視で確認することとなり、被災者他3人が空コンテナ上にあがっていたが、5段目を確認した後、4段目に移動したところで被災者が居なくなっていることに他の作業員が気づき捜索したところ、約12m下の地上で倒れている被災者が発見された。	50202	10 ～ 29
2009	1	11 ～ 12	被災者はトラックの荷台に積まれた木材がくずれないように、木材の上に乗リラッシングベルトを締める作業を行っていた。その際に、木材の上から墜落した。災害発生時、被災者はヘルメットを着用しておらず、木材の上に乗るために靴を脱いでいた。トラックは最大積載荷重12400kgで地面から積荷の上までの高さは3.095mであった。	40301	10 ～ 29
2009	10	8 ～ 9	本船のデッキ上に積まれていたコンテナをガントリークレーンを用いて岸壁に積みおろす作業中、4段目に積まれていた40フィートフラットコンテナを玉掛け作業後、隣のコンテナに降りようとした際に、約7.5m下のデッキ上に墜落した。	50202	50 ～ 99
2009	7	12 ～ 13	事業場を出発したトラックに積み込まれていた基礎工事用鋼管ケーシング6本が、荷崩れを起こしたため道路路肩に停車した。荷崩れを直すため、事業場から応援にきた作業員3人とトラックの運転手の4人で、トラック積載形小型移動式クレーンを使用して積み直しをしていた。ケーシングを固縛する作業を実施していたところ、被災者が荷台上のケーシングから墜落し、身体を強打し意識不明になり、死亡した。	30199	50 ～ 99
		11	スーパーマーケットの商品搬入口において、商品（段ボール梱包された飲料、重量約300kg）を降ろす作業中、トラック後部の油圧昇降機（テール		50

2009	11	～	ゲート）を使ってキャスター付き台車（0.7m×0.8m×1.7m）に乗せた商品を	80109	～
	12		降ろそうとしていたところ、誤って被災者は当該台車とともにテールゲート		99
			から転落し、商品とキャスター付き台車の下敷きとなった。		
2008	6	～	被災者が積み上げられたダンボール上（高さは約1m）で一人で作業を行って	80109	30
	10		いた。しばらくして別の作業者が被災者が出血して座り込んでいるところを		～
			発見した。病院へ搬送後、死亡した。		49
2008	12	～	被災者は、船舶上でパイプ（径14cm、総計1847本、総重量755t）の玉掛け作	50202	10
	14		業を行っていた。304本積み込みしたところで、積込指示書と実際の積み位置		～
	15		に相違があることに気付き、一旦作業を中断した。その後、パイプの積み込		29
			み方法の確認のため、パイプ上から内航船床面にいた検数員と打ち合わせし		
			た際、パイプ上（高さ約4m）から内航船床面に墜落して死亡した。		
2008	7	～	被災者は玉掛け作業の終了時間を確認するために台船上のアバロンブロック	30111	1～
	18		（高さ3m）上に出てきた時、アバロンブロック上から台船甲板上へ墜落し		9
	19		た。		
2008	4	～	被災者は、石膏の入った円柱形の袋（直径90cm、高さ約90cm）の上に乗	150102	10
	11		り、乗っていた袋より一段高い位置に積まれていた同種の袋を重機で運搬す		～
	12		るために、ワイヤーを重機のフックと運搬する袋のつり紐に取り付けてい		29
			た。その取り付けを終えて重機の邪魔にならないように袋の上から後ろ向き		
			に降りようとした際に、乗っていた袋の上のつり紐に足を引っ掛けて、後ろ		
			向きに墜落した。		
2007	11	～	被災者はリース会社の敷地内で、建設現場から引き取ったリース品である仮	40301	10
	16		設ハウスの荷下ろし作業を行うため、積載形トラッククレーン（つり上げ荷		～
	17		重2.9t）の荷台上にある仮設ハウスの屋根に上り、玉掛け作業を行って		29
			いたところ、約4m下の地面に墜落した。		
2006	10	～	船の2番ハッチで船内荷役作業中、高さ約12メートルの荷（ウッドパル	50202	30
	16		プ）の上で、玉掛け作業を行っていたところ、荷とコルゲーション（ハッチ		～
	17		の壁面に凹部があるもの）の間に転落した。		49
	14		米の貯蔵倉庫にて、倉庫内に鳩が入っていたのを発見し、倉庫の電気を消し		10

2006	10	～ 15	て倉庫入り口のシャッターを閉めて鳩を捕まえようとしていたところ、はい付けした米俵の上、約2.2mの高さから地面に墜落した。	170209	～ 29
2006	6	7 ～ 8	原料処理場において、脱水率調査用のサンプルとして原料のキハダマグロを2段積み解凍タンクの上で取り出す作業中墜落した。	10102	100 ～ 299
2006	8	～ 14	最大積載量7.25トンのトラックに廃コンテナ（高252幅230奥行323センチ）2個を載せ、自社処分場に搬入した。油圧ショベル（アタッチメント：マグネット）のフックに玉掛用ワイヤロープを掛け、1個目の荷下ろしをした。2個目のコンテナに玉掛けするために被災者がコンテナ上部にあがったとき、姿勢を崩し、荷台上に墜落した（高252センチ）。	80209	1～ 9
2006	5	14 ～ 15	倉庫内で、被災者はサービス部品の確認もしくは収集の際に高さ3mの収納ワゴンから床に墜落し、倒れているのが発見された。	11502	100 ～ 299
2005	12	11 ～ 12	トラックの荷台に風呂桶を3段に積み、製品梱包ビニール上部に溜まった水抜き作業を荷の最後部に上がって行っていたところ、3.9m下の地面に転落した。	40301	100 ～ 299
2004	12	19 ～ 20	店舗倉庫内に積み上げられた商品の上に登り、トイレットペーパー入りの段ボールを取ろうとしていたところ、足を滑らせ2.42mの高さから墜落した。	80201	50 ～ 99
2004	11	9 ～ 10	岸壁に接岸された台船上のコンテナ上からもう一つのコンテナに飛び移ろうとしたところ、コンテナクレーンからつり下げられていたスプレッダーに激突し、コンテナ間に墜落した。	50202	1～ 9
2004	9	16 ～ 17	屋外に保管したファブデッキにはしごで登り、ブルーシートをかけなおす際に、高さ3.15mのファブデッキ上部より墜落した。	11209	10 ～ 29
2004	11	0 ～	工事現場の資材置場において、階段状に積まれた電柱（最高高さ約1.7m）の上から転落した。	170201	30 ～

		1			49
2002	8	9 ～ 10	船殻工場において、船台に船舶部品の手すり（2束）を積み込むための玉掛けで、高さ60cmのところで手すりがある鉄板に上がろうとしたときに、手すりの1束（270kg）が倒れ手すりとともに地上に墜落した。	11501	100 ～ 299
2002	3	15 ～ 16	自動車道高架橋耐震補強工事の安全パトロールで橋脚上部の足場上にいたところ、撤去のためチェーンブロックで吊り下げていたコンクリートブロックが大きく傾いて、足場上から押し出され9.6m下に墜落したもの。	30105	30 ～ 49
2001	12	10 ～ 11	廃材置場で、最大積載量3.6tのトラックの荷台上からパチンコ台(重量13.5kg)をトラックの傍に置かれた鋼製コンテナの中へ投下中、パチンコ台が服に引っかかって台とともに投げ入れていたコンテナ上へ転落し、コンテナの縁に取付けられていたピースで腹部を強打した。	150102	1～ 9
2001	12	16 ～ 17	コンクリート工場で直径500mmのヒューム管の5段目のはい積み作業を行っているときに、高さ約2.7mの4段目のヒューム管から足を踏み外して墜落した。	50101	50 ～ 99
2001	12	5 ～ 6	冷蔵庫内の冷凍食品を取るためピッキングフォークリフト(最大荷重700kg)に乗って高さ約4.35mまで登り、冷凍食品が載っている棚に移るためパレット上に2段積みしてあった冷凍食品(とうもろこし)の箱に足をかけたところ、箱が揺れたためバランスを崩し、コンクリート床に墜落した。	80109	30 ～ 49
2001	10	13 ～ 14	中学校新築工事現場において、浮き床基礎の梁型枠(長さ4.5m、重さ80kg)2個を積載型移動式クレーン車(吊り上げ荷重2.9t)からラフタークレーン(吊り上げ荷重10t)で荷降ろし中、4点に掛けていたワイヤーロープのうち1点がはずれて上段の梁型枠が落下したため梁型枠とともにクレーン車荷台から墜落し荷の下敷きになった。	30202	1～ 9
2001	6	9 ～ 10	事業所内のごみ集積場において一般ごみの入った箱(180cm×90cm×91cm、ベニヤ製)をフォークリフトで持ち上げ、箱の中に入って横付けしたトラックの荷台へごみを移し替えていたとき、箱がフォークリフトのフォークからずり落ちたため箱とともに地上に墜落し後頭部を強打した。	80109	1～ 9

2001	4	15 ～ 16	パレット上に積み上げられた石綿袋(1袋約50kg)45袋の最上部分(高さ215cm)からバランスを失って落下した。	10901	10 ～ 29
2001	5	15 ～ 16	接岸された船舶からコンテナを荷揚げ作業中に、船倉内でコンテナ(4段積み)の頂上部から約2.8mのデッキへ上がろうとしたが無理なので再びコンテナ上へ戻るとき、荷と船倉内壁の隙間(幅54cm)から約10m下の船倉へ墜落した。	50202	100 ～ 299
2001	3	14 ～ 15	木材を土場まで運搬するため、トラックに木材を積み荷台上で積荷を整えていたときに、2.05mの高さからアスファルト舗装上に墜落した。	30202	1～ 9
2001	4	11 ～ 12	フォークリフトを育苗用床土の入っている袋(重さ0.9t)を運搬するため、2段積みされている袋の上(高さ185cm)に上がり、フォークにロープを掛ける作業をしていたときに転落し、停止していたフォークリフトのフォーク部分に激突したのち床面に落下した。	170209	10 ～ 29
2001	3	10 ～ 11	岸壁に係留された船舶の船倉内へ60kg袋入の援助米1万tを揚荷装置で積み込み作業中に、船倉内の高さ3.6mに積上げた米袋の上から船倉床に墜落した。	50202	1～ 9
2000	8	16 ～ 17	4tトラックに積み込んだベニヤ廃材の束2つを固定するためベニヤ廃材の上に乗りワイヤーを巻き取り工具で締め付けていたときに、高さ約2.4mの荷の上から転落した。	40301	10 ～ 29
2000	7	7 ～ 8	大型トラック(15t)の荷台から鉄製の電線ドラムを降ろすためトラックの荷台に上り電線ドラムを固定していたレバースブロックを外していたところ、突然、電線ドラムが動き出しともにトラック荷台から転落した。	40301	30 ～ 49
1999	10	14 ～ 15	2tトラックの荷台で引っ掛け工具で荷をずらそうとしたところ、引っ掛け工具が外れたために荷台から転落し頭部を打った。	11204	10 ～ 29
		10	2階フロアー増設のためのユニットをトラッククレーンで吊り上げ、ジョイン		

1999	4	～ 11	ト部を2階既設フロアーに差し込むために増設ユニットに乗ってチェインブ ロックのフックを掛けようとしたときに、約4. 4m下の1階コンクリート床に 墜落した。	30302	1～ 9
1999	2	11 ～ 12	資材置場で積層材を降ろすため、約2. 5mの高さに積み重ねてある積層材に 足を掛けてよじ登り、上部の積層材を引っ張り降ろそうとしたときに体のバ ランスを崩して積み上げてある積層材数枚とともに約2m下の地面に転落し た。	10409	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_31.htmlに戻る。